



所信声明

分娩第三期における生理学的管理

Role of the Midwife in Physiological Third Stage of Labour

背景

分娩第三期は、新生児の誕生から胎盤および卵膜の完全な娩出までの時間と定義されている。この第三期は、適応の時間である。産婦は母親になり、出産後のホルモン・身体・情緒の変化に適応していく。新生児も、子宮外の生活に適応していく。分娩第三期を管理するための子宮収縮薬は常に使用できるとは限らず、すべての産婦が使用に合意するわけでもない。助産師は、出産の場所または文化的・社会的環境に関係なく、子宮収縮の特質と胎盤娩出の生理（すなわち分娩第三期）を理解していなければならない。

助産師の役割には、第三期の所要時間と胎盤娩出時間と経過の定期的評価、出血の観察、産婦と新生児の全体的健康状態の評価が含まれる。胎盤の生理的な娩出における助産師の役割には、陣痛・娩出の生理と新生児の胎外生活への適応とに関する情報を産婦に提供することも含まれる。

所信声明

多くの助産師は、子宮収縮薬を使わない胎盤の娩出に立ち会いを求められる。そのため、生理学的（妊産婦）ケアと分娩第三期の管理の知識は、基本的な助産能力と考えられる。この実践能力には、助産師は産婦の出血およびこの出血の生理学的影響を継続的に評価し、必要に応じて処置を行うことも含まれる。産婦が介入を受けない胎盤娩出を自主的に選択する場合、助産師は、産婦とその家族が意思決定をする上で必要なすべての情報を提供するように配慮しなければならない。

会員団体への推奨

この所信声明は、ICM「助産師の定義」の役割と適用範囲、および ICM が助産師に期待す

る基本的能力に基づくものである。また、自律の原則と、出産は妊産婦とその家族が情報を得て、選択ができ、インフォームドコンセントの権利を有する生理的プロセスであるという概念にも基づいている。会員団体に対しては、すべての助産師カリキュラムと現任教
育プログラムに、分娩第三期の生理的管理と第三期の積極的な管理における助産師の役割
を取り入れることを求める。

関連 ICM 文書

- ICM. 2017 所信声明 分娩第三期における生理学的（妊婦）管理に関するガイドライン
- ICM. 2017 基本文書 ICM 助産の定義
- ICM. 2010 基本文書 基本的助産実践に必須なコンピテンシー（2013 年改訂）
- ICM. 2017 所信声明 助産：自律的な専門職
- ICM. 2017 所信声明 女性と助産師のパートナーシップ
- ICM. 2017 所信声明 出産時の適切な介入
- ICM. 2017 所信声明 出産における伝統と文化
- ICM/FIGO. 2006 共同声明 産後出血の予防と処置：低資源の状況のための新たな進展

その他の関連文書

Eddy, A., Begley, C. Fullerton, J. Guilliland, K. Kennedy, H. A 2009. Delphi Survey on the role of the birth attendant during a physiological third stage of labour. International Confederation of Midwives, Newsletter, 2009.

2008 年グラスゴー評議会にて採択

2017 年トロント国際評議会にて改訂

次回の見直し予定：2023 年

2017 年 公益社団法人日本看護協会、公益社団法人日本助産師会、一般社団法人日本助産学会 訳

ICM 発行文書の原文については、ICM が著作権を有します。
日本の ICM 加盟団体である日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会は、ICM の許諾を得て日本語に翻訳しました。
日本語訳の著作権については、原文作成者である ICM と日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会に帰属します。
原文の転載引用については、ICM に連絡し使用許諾を得てください。
日本語訳の転載引用については、日本助産師会 <http://www.midwife.or.jp/> に連絡し使用許諾を得てください。